

2021
12月

『古代エチオピア王家の物語の星座を見つけよう』



2021年12月の星空

上旬 22時ごろ 中旬 21時ごろ 下旬 20時ごろ

今なお主演の
秋の星座たち

★秋の星座たちが主役の物語

暦の上では冬ですが空には秋の星座が今なお主役です。秋の星座には明るい星が少なく寂しい印象を受けるかもしれません。しかし物語を一つ覚えているだけで、とても華々しく見えてくるはずですよ。

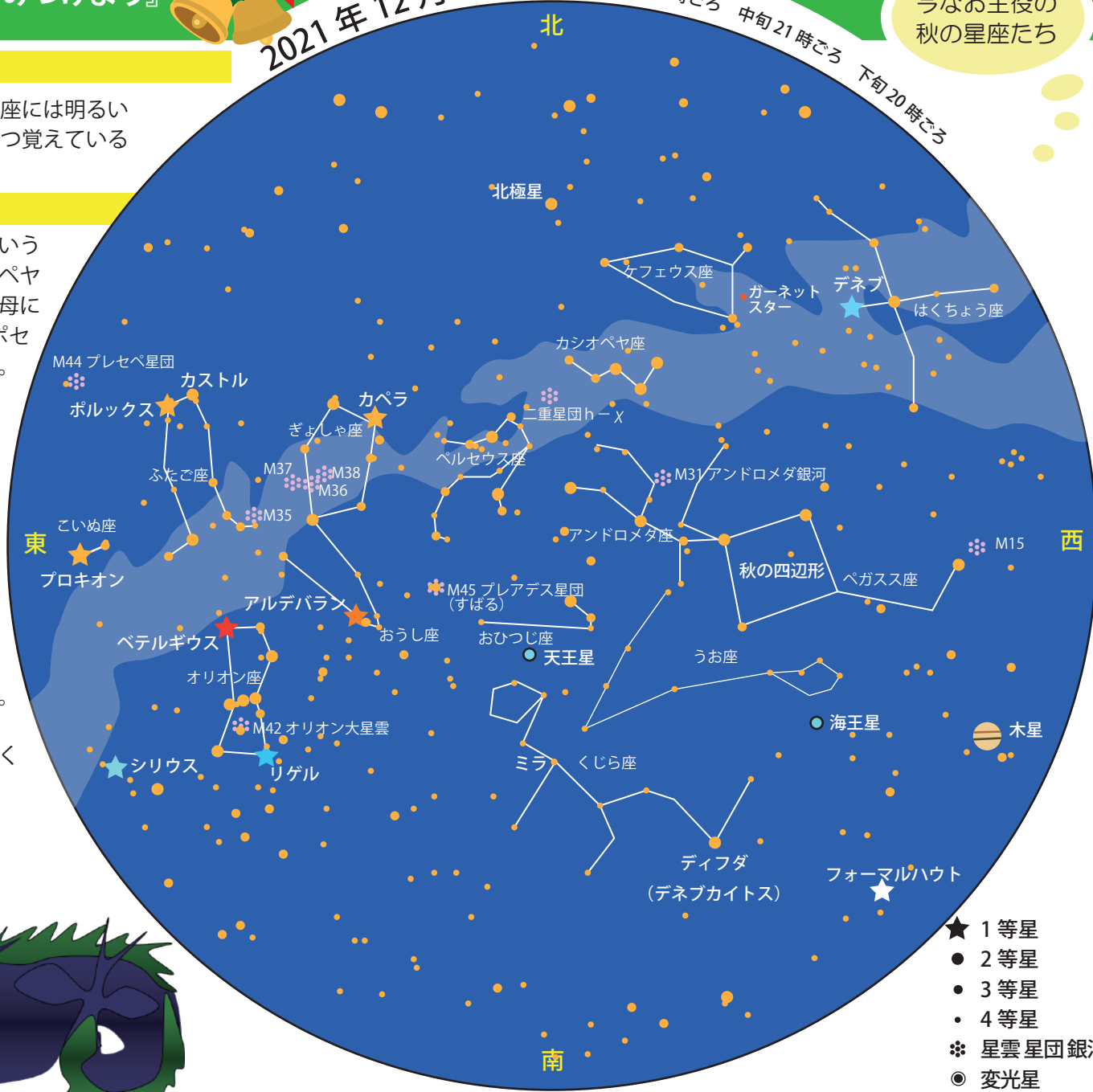
★古代エチオピア王家の物語

現在のエジプトからイスラエルの辺りに、その昔エチオピアという国がありました。国を治める王ケフェウスは人柄がよく妃カシオペヤ共々、たいへん民に好かれていました。その愛娘アンドロメダは母に似て美しく育ち、「私の娘アンドロメダの美しさの前には、あのポセイドンの愛孫だって頭を垂れるわ」と自慢するまでになりました。

その噂は海の神ポセイドンの耳にまで届きます。愛孫を貶された怒りから化けくじらをエチオピアに放ち街を襲わせました。どうすれば怪物を鎮めてくれるのかと神に聞くと『娘を生贄に差し出せ』と言われました。アンドロメダは「私が犠牲になることで国を救えるなら」と自ら生贄になることを決断します。

岩壁に縛り付けられたアンドロメダを化けくじらが食べようとしたその時、天馬ペガサスに跨った勇者ペルセウスが現れました。ペルセウスは怪物の前へと躍り出るとその眼前にメドゥーサの首を掲げます。目を合わせた怪物は石となり海の底へと沈んでいきました。

怪物を倒し、娘を救ってくれた英雄を王と王妃は快く迎えます。一目で恋に落ちたペルセウスとアンドロメダは結婚しエチオピアで暮らすことになります。その後エチオピアは豊かな国として長く語り継がれました。



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- ※ 星雲 星団 銀河
- ◎ 変光星

◆今月の天文現象

- 4日 ●新月（南太平洋で皆既日食）
金星が最大光度
- 7日 大雪（太陽黄経 255 度）
- 11日 ●上弦の月
- 14日 ふたご座流星群が見ごろ
- 19日 ○満月
- 22日 冬至（太陽黄経 270 度）
- 27日 ●下弦の月

◆2022年1月1日 初日の出時刻◆

- ・武雄市@佐賀県 7時22分ごろ
- ・納沙布岬@北海道
（日本本土で最も東） 6時49分ごろ
- ・犬吠埼@千葉県
（初日の出が最も早い平地） 6時46分ごろ
- ・富士山山頂
（日本で一番高いところ） 6時42分ごろ
- ・与那国島@沖縄県
（日本で最も西） 7時32分ごろ

★ PICK UP ★天文現象

ふたご座流星群を見よう！



2021年のふたご座流星群の活動は、12月14日16時頃に極大を迎えると予想されています。今年は、深夜まで上弦過ぎの月が空に残り、月明かりの影響を受けてしまいます。そのため、月が沈んでから明け方にかけての観察がおすすめです。

流星が最も多く現れそうなのは、13日の夜から14日の明け方にかけてです。武雄市の月の入りは2時32分、薄明の開始が5時45分ごろなのでその間が観察に適しています。

流星は放射点の方向だけに現れるのではなく、空全体に現れます。いつどこに出現するかは分かりませんので、なるべく空の広い範囲を見渡すようにしましょう。また、目が屋外の暗さに慣れるまで、最低でも15分ほどは観察を続けると良いでしょう。大変寒い季節ですので、寒さ対策をしっかりと行ってください。

◆土曜の夜は星をみよう

毎週土曜日夜、プラネタリウム投映と天体観望会を開催

◆サタデーナイトプラネタリウム

30分間の生解説でお送りします。天体観望会の前に星空を予習したい！という方におすすめです。***今後の状況により変更となる場合があります**
+毎週土曜日 18時～30分間（途中入場不可）。要プラネタリウム観覧料（17時55分販売終了）。



も〜っと星空散歩 12月の星空を楽しもう〜古代エチオピア王家の物語の星座〜（12月4、11、18、25日）

季節の星座や見ごろの天体をたっぷり紹介します。
天体観望会で観望予定の天体も紹介するので予習できます。
また、そのときどきの天文現象や宇宙の話題もお届けします。

◆天体観望会

+時間：**10月～2月 19時～20時30分** / 3月～9月 20時～21時30分

+観望会は無料。受付は終了時刻の30分前まで。天候不良の場合は中止。

+天体観望会のテーマ ***今後の状況により変更となる場合があります**

12月 古代エチオピア王家の物語の星座をみつけよう / 1月 おうし座すばるをみつけよう

***実施の可否は当日18時に判断しHPやTwitter、facebookでお知らせします。**
また天候不良により途中で中止となる場合もあります。



◆今月の見ごろの天体

- ★4日・・・木星（縞模様の観察）、天王星（青い色がわかるかな？） など
- ★11日・・・月（月齢6.8）、木星 など
- ★18日・・・月（月齢13.8）、木星 など
- ★25日・・・木星、天王星 など

*観望天体は、天候・混雑状況などにより、変更になることがあります。
*受付で先着15グループに整理券を配布します。4名以上は2グループに分かれて受付をしてください。
1グループが望遠鏡で天体を見られる時間はおよそ5分間、グループごとの完全入替制です。
新型コロナウイルス感染対策のため、望遠鏡にアイピースカバーを装着してご覧いただきます。
*天体観望会開始時に天候不良の場合は工作ワークショップを行います。（要材料費）

・・・お知らせ・・・

★冬の企画展「オーロラを体感！～オーロラメッセンジャー 中垣哲也 オーロラ展～」

12月18日（土）～2022年2月13日（日）

オーロラメッセンジャー中垣哲也氏が撮影したオーロラの写真や映像の展示会です。

太陽風が地球の磁気より阻まれ発生するのがオーロラであり、

そのおかげで我々生命は生きていくことができています。

かけがえのない惑星・地球号に思いを馳せてみませんか？



★年末年始休館について

2021年12月29日（水）～2022年1月1日（土）は休館します。

2022年は1月2日（日）より開館します。3日（月）は開館します。



佐賀県立 宇宙科学館
SAGA PREF. SPACE and SCIENCE MUSEUM
ゆのぎんが

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島16351（武雄温泉保養村内）
TEL 0954-20-1666 FAX 0954-20-1620
https://www.yumeginga.jp